

水の女 (2002)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 Color

時間 115分

初公開日 2002/11/09

公開情報 アーティスト・フィルム＝日活

【キャッチコピー】

いつまでもおったらええやん。ずっと…

水の女と火の男、宿命の恋

【解説】

宇宙の万物の源“水・火・風・地”を題材に、“水”の女と“火”に取り憑かれた男の宿命の恋を描く。監督は本作で劇場映画デビューとなるCMディレクターの杉森秀則。兼任した脚本はサンダンス／NHK国際映像作家賞を受賞した。銀幕初登場にして主演のUAは、エンディングテーマも手掛けている。

父と共に関西の小さな町で銭湯を営んでいる涼。彼女の身の回りで何かある時は必ず雨が降るため、涼には“雨女”とあだ名がついていた。結婚直前、婚約者と父が同時にこの世を去った時も雨が降っていた。唯一の家族を失った涼は、しばらく銭湯を閉めて旅に出る。旅から戻ると見知らぬ男・優作が勝手に上がり込んで食事をしていた。涼は驚きながらも不思議な魅力の優作に惹かれていく。火を見ると落ち着くと言う優作に釜場を任せ、銭湯の営業を再開した。互いに何も問いかけることなく、奇妙だが幸せな毎日が続くと思われたが…。

【クレジット】

監督	杉森秀則
製作	河村光庸 猿川直人
製作総指揮	中村雅哉
プロデューサー	甲斐真樹 根岸洋之
ラインプロデューサー	大里俊博
脚本	杉森秀則
撮影	町田博
美術	林田裕至
衣裳	北村道子
編集	杉森秀則
音楽	菅野よう子
照明	木村太朗
録音	林大輔
整音	杉山篤
助監督	猪腰弘之
出演	UA UA 清水涼

浅野忠信	Tadanobu Asano	宮澤優作
HIKARU	HIKARU	ユキノ
江夏豊		清水忠雄
大浦龍宇一		ヨシオ
塩見三省		仲代
大久保鷹		太宰
流山児祥		製材所の男
川又邦広		若き日の忠雄
町田忍		銭湯の客
樋口圭太		少年時代の優作
谷崎亜門		聡子の子供
杉山りん		少女
都家歌六		安二郎
松島一夫		浪曲爺
頭師佳孝		煙突掃除人
石井光三		警官
ぼんちおさむ		犬を散歩させている男
YUKI	YUKI	聡子
小川真由美		翠